

目次

| | |
|---|----|
| ご案内..... | 1 |
| 副会長 中村 秋夫 氏からの挨拶 | 2 |
| FEEDS レポート | 2 |
| Diakelec - ギニア、コナクリ | 3 |
| Covelec - ギニア、コナクリ | 4 |
| Promotelec にある Kesco を訪問..... | 5 |
| Kesco と Consuel が覚書に署名 | 5 |
| アフリカのエネルギー急増 - 2018 年の目標 7 達成状況 | 6 |
| WG EU/ME の報告 | 7 |
| アフリカ／電気：使用者の安全確保が重要...04-2018..... | 9 |
| Fisuel の 2019 年度総会をレバノン・ベイルートで開催 - OEA と FLE が招待..... | 10 |
| カメルーンの ENEO と税関が協定締結..... | 11 |
| ベナンにおける再生可能エネルギー..... | 12 |



ご案内

一貫したニュースレターを目指して

本ニュースレターを充実したものにするため、ご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。
FISUEL ニュースレターの読者に紹介したい事例や話題等がございましたら、記事に写真を添えて、fisuel@fisuel.com まで電子メールでお送り下さい。

2018 年から 2019 年に開催される Fisuel 会合の日程

アフリカ・ワーキンググループ：現在開催中、また 2019 年 4 月にベイルートで開催

アジア太平洋ワーキンググループ：2019 年 4 月にベイルートで開催

欧州・中東ワーキンググループ：2018 年 11 月にリヨンで、2019 年 4 月にベイルートで開催

理事会：2019 年 2 月と 4 月に開催

本ニュースレターは次のウェブサイトでもご覧いただけます：www.fisuel.org

Fisuel 連絡先窓口のご案内

- Fisuel 宛て郵便物送付先住所：Fisuel chez Promotelec, Tour Chantecoq, 5 rue Chantecoq, 92808 Puteaux Cedex, France
- 電子メールアドレス：fisuel@fisuel.org（担当：Mrs. Annie Besançon）
- 電話番号：+ 33 (0) 9 52 19 68 75
- 本部所在地：21 rue Ampère, Paris, 75017, France



副会長 中村 秋夫 氏からの挨拶

電気は、賢く使えば、中核となるエネルギーです。使いやすく、送りがやすく、光・熱・運動などの他のエネルギーに簡単に変換できます。再生可能エネルギーをあらゆる用途に使用するには、電気に変換する必要があります。したがって、この言葉は真実と言えます。ただし、すべての物には明るい側面と暗い側面の二面があります。適切に管理・使用しなかった場合、電気は危険なものになり得ます。



電気の安全のためには、2つのステップが必要です。最初のステップは、安全性を維持するための合理的で効果的な仕組みを確立することです。電気用品の基準、配線施工に関する規制、技術者の認定制度、検査規則など、仕組みの内容は多岐にわたります。

第2のステップは、こちらが基幹的なステップですが、仕組みを現実の世界でうまく機能させることです。仕組みを作ることは、その大半が一種のデスクワークで行えますが、第2のステップは多くの労力を必要とし、達成はずっと難しくなります。その難しさは、偽造品や危険な製品を思い浮かべれば容易に理解できるでしょう。法規制を整備して、偽造品や危険な製品の使用を禁止するだけでは、その拡散を減らすことはできません。市場監視や立入検査など、断固とした多くの措置を実施する必要があります。さらに、偽造品や危険な製品を使用することは、間違った、モラルに反する行為であるという認識を製造者やユーザーに広めることも、このステップに含まれます。

電力業界での50年にわたる職業上の経験から、第2のステップの粘り強い努力なしに、電気の高い安全性を実現することはできないと確信します。成功には、必ず忍耐が必要です。

FISUEL 副会長 中村 秋夫 氏

FEEDS レポート

ワーキンググループ欧州・中東 (Eu/Me) は、2018年、FEEDS (Forum for European Electrical Domestic Safety) プログラムに多額の出資を行いました。

FISUEL は ECI (European Copper Institute : 欧州銅協会) の共同スポンサーの1つです。この作業では、欧州諸国用のマルチエントリ表を作成しています。(住民数、住宅数、火災件数、電気火災件数など)。以下は、検証中の「欧州」表の例です。

| 国 | レビュー日 | 住民数 | 住宅数 | BNP (EU-28の割合) | 住宅火災件数 | |
|---|-------|--------------|-------------|-------------------|--------------------|-----------|
| | | | | | 報告された火災件数 | 火災総数 |
| EU | 2018 | 512 762 685 | 226 991 424 | 100 | 437 420 | 1 087 210 |
| <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; transform: rotate(-15deg); color: red; font-weight: bold;">サンプル - 検証中</div> | | 電気が原因の住宅火災件数 | | 電気火災の割合 | 火災事故数 (住宅火災すべて) | |
| | | 報告された電気火災件数 | 電気火災総数 | % | 死亡者数 | 負傷者数 |
| | | 108 810 | 272 960 | 25 | 4 040 | 133 428 |

次回の Fisuel ニュースレターでは、すべての表を公開します。

Benoit Dôme 氏

Diakelec - ギニア、コナクリ

2018年9月1日、10月15日（月曜日）にパリで開催された理事会において、ギニア・コナクリにある Diakelec が FISUEL の会員に承認されました。



Algassimou DIAKITE
DIAKELEC HOME 社 CEO



DIAKELEC は、電気機器の販売大手として、ギニア市場で 2009 年から事業を展開しています。市場のリーダーであることに加え、ビジネススキルとシステムの統合によって、電気機器販売分野における強力かつ戦略的パートナーの地位を確立しました。また、電気機器の用途拡大、製品技術の進歩、新しいサービスのニーズなどによる大きな発展可能性を持っています。販売活動全般にわたるノウハウを駆使して、DIAKELEC はお客様と一緒にプロジェクトを進め、独自の競争優位性の構築、製品販売標準の改善予測、商業サービスの品質向上を実現します。多くのお客様に満足していただき、お客様のニーズに応えられるように、当社は以下のような様々なサービスを提供しています。

設置

設置作業の前に、当社の電気技術者が詳細な診断を実施して、お客様の実際のニーズを判断します。

支援

当社はトラブルシューティングサービスも提供しており、一般および専門家のお客様のあらゆる問題を迅速に解決します。

電気保守

電気事故の件数の多さを考えると、保守は電気設備のワクチンと言えます。電気関連の事故を減らすために、当社は電気施設の保守を確実に実施します。

調査

新築または改築において、電気工事は最も時間のかかる、複雑な仕上げ作業の 1 つです。作業中にブラシに触れないように、作業の始めから回路図を作成して、設備と部品の詳細を把握しておくことを強くお勧めします。一般のお客様か専門家のお客様かに関係なく、当社はお客様の見積りを支援します。

アドバイス

Diakelec は、電気装置の適合性サービスを提供します。すべての電気設備には、従うべき規格があります。このサービスは不適合を検出して解決するものです。より良い安全な製品をお客様が利用できるように、当社は必要な助言を行います。

トレーニング

Diakelec は、電気設備・情報ネットワーク用製品システムの世界的リーダーの 1 つである Legrand、あるいはケーブル業界の世界的企業 Nexans と協力して、毎年 150 人以上の電気技術者のトレーニングを実施しています。Diakelec 社は、粗悪な電気機器によって毎年多くの致命的事故が発生していることを鑑み、ギニアにおける事故減少のため積極的に努力しています。

Algassimou Diakité 氏

Covelec - ギニア、コナクリ

2018年9月1日、10月15日（月曜日）にパリで開催された理事会において、ギニア・コナクリにある Covelec が FISUEL の会員に承認されました。



COVELEC 社は 2009 年創立の有限責任会社であり、**Kallo Aboubacar Sidiki & Frère 氏**によって創立、経営されています。

首都コナクリにある当社は、本社を Dixinn 自治体に置き、9 年以上にわたるスキルとノウハウをお客様に提供します。

株式資本 10,000,000 GNF を有し、持続可能性を確保するための資金を所有しています。**経験とノウハウ**

持続性が当社の主要なノウハウを保証

します。**電気全般、オートメーション、火災警報器、インターコム、アクセス制御、コンピュータ/ネットワークケーブル接続**などの専門的技能には持続性が大きく寄与しています。長年の経験から蓄積されたノウハウによって、実証済みの改築方法と最新技術とを結び付け、古い製品と新しい製品を区別せずに扱うことができます。

人間関係

人間関係は忠誠と安定の概念に基づいており、**COVELEC** の社員およびお客様にも等しく当てはまります。創立以来、当社は一貫した支持者を獲得しています（国有および民間企業、個人、政府機関、共同所有者、資産管理者、設計者、装飾者など）。

2013 年に **COVELEC SARL** へと変更されて以降、あらゆる電気設備の清掃保守を行っています。

COVELEC SARL は、様々な管理機関、**ENERGETIC** から助言を受けており、規則を順守するスタッフの施工によって、電気設備の寿命が確実に延長されます。

COVELEC の高電圧保守の専門家は、すべてのブランドの機器を扱うことができます。

COVELEC では、低電圧設備、変圧器、回路遮断器も扱います。

COVELEC は、誘電解析を実施し、結果と必要な措置についてお客様に助言します。

COVELEC は、認定パートナーと連携して、お客様に補完的サービスを提供します（サーモグラフィ、発電機、電気モーターなど）。

HT-BT セル：吸引、スプレー、機構のグリース塗布、接続の締め具合・機能・トリガーの検証。

COVELEC では変圧器の保守も行います：

- 吸引、スプレー、レベル管理、安全性試験。
- 油遮断器 HT の交換。
- ディストリビューションセルの詳細な点検。
- インバータと電気キャビネットの清掃。
- 変圧器の汚れ除去または破棄。
- HT/LV セル、変圧器の供給。
- 赤外線サーモグラフィ：設備の熱制御。



Aboubacar Sidiki KALLO
COVELEC 社 CEO

COVELEC SARL は、お客様のエネルギーチェーン・パートナーです。

Kallo Aboubacar Sidiki 氏

Promotelec にある Kesco を訪問

Promotelec にある Kesco を訪問、2018 年 11 月 9 日金曜日

Kesco の新 CEO の着任を受け、2 つの機関（Kesco と FISUEL）を互いに紹介しました。Fisuel に関しては、電気使用者の安全促進、フランスと韓国の 2 つの国で発生した問題とグッドプラクティスなどが話し合われました。

Kesco はベトナムに拠点を持ち、東南アジアに Fisuel を展開しようとしています。KESCO の代表団メンバーは、CEO 兼会長の Sung-Wan Cho 氏、検査部門長の Duk-Ki Choi 氏、プランニング・イノベーション部門ゼネラルマネージャーの Jae-Sung Yoon 氏、事務局アシスタントマネージャーの Yoon - Jong Kim 氏、ならびに、国際協力チーム担当アシスタントマネージャー兼 Fisuel アジア太平洋ワーキンググループのリーダー Moonyeong Bak 氏でした。Fisuel からは、会長の Dominique Desmoulins 氏が代表で出席しました。



Fisuel 会長 Dominique Desmoulins 氏 (Promotelec)

Kesco と Consuel が覚書に署名

2018 年 11 月 7 日、FISUEL の会員である KESCO（韓国）と CONSUEL（フランス）の間で、電気設備の点検向上に関する覚書が署名されました。調印式は CONSUEL の本部で行われました。署名者は、KESCO の会長兼 CEO である Sung-Wan Cho 氏と CONSUEL の会長 Jacques Wetzel 氏でした。様々な議題、特に、標準的な基準、点検の方法、電気分野における技術の進歩、新しい検査の実験などについて意見が交わされました。この初回訪問における KESCO 代表団は、会長兼 CEO の SUN-Wan Cho 氏、検査部門ディレクターの Duk-Ki Choi 氏、プランニング・イノベーション部門ディレクターの Jae-Sung Yoon 氏、事務総局アシスタントマネージャーの Yoon-Jong Kim 氏、国際協力チーム担当アシスタントマネージャーの Moonyeong Bak 氏で構成されていました。CONSUEL の技術部門と意見を交換し、1 日間の現場視察も行って、太陽光発電設備やマルチハウジング適合施設の現場を視察しました。

さらに、Gennevilliers にある地域事務所で技術者や事務局の仕事についても学びました。こうした連携は、技術と実践の共有の両方で有意義であり、電子メールや電話会議による定期的な情報交換を通して今後も継続されます。

2019 年の間に CONSUEL の代表団が KESCO を訪問し、次回は韓国のシステムを視察する予定です。



Marc Maslowski 氏 (Consuel, Fisuel 財務担当理事)

アフリカのエネルギー急増 - 2018 年の目標 7 達成状況

目的：すべての人が、手頃で信頼できる、持続可能で近代的なエネルギーを利用できるようにすること（SDG7 – 持続可能な開発目標 7）。

FISUEL にとっては、初めて電気を使用する人の安全の確保も不可欠です。



すべての人が、手頃で信頼できる、近代的なエネルギーを利用できるようにするという目標は、特に LDC（後発開発途上国）における電化の進展、および工業エネルギーの効率向上によって、実現に一步近づいています。しかし、2030 年のエネルギー目標を達成するには、今後も国家的な優先課題として政策を推進する必要があります。

2000 年から 2016 年の間に、電気を利用できる世界の人口の割合は 78 パーセントから 87 に上昇しました。これによって、電気なしで生活している人の絶対数は 10 億人以下に減少しました。

- 後発開発途上国では、2000 年から 2016 年の間に、電気を利用できる人の割合が 2 倍以上に増えました。
- 空気を汚す燃料とストーブを使って料理している人が、2016 年の時点でまだ 30 億人いました（世界の人口の 41 パーセント）。
- 最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合は、2014 年の 17.3 パーセントから 2015 年の 17.5 パーセントに多少増加しました。しかし、近代的な再生可能エネルギーは、再生可能エネルギーの 55 パーセントにとどまっています。
- 2014 年から 2015 年の間に、世界のエネルギー強度は 2.8 パーセント減少しました。これは、1990 年から 2010 年までの改善率の 2 倍です。

出典：事務総局報告書、[The Sustainable Development Goals Report 2018](#)

参照：

The UN's plan for universal access to energy:

<https://www.seforall.org/content/africas-energy-surge>

Today 1.2 billion people around the world have no access to electricity, but a UN plan aims to fix that - with clean and affordable energy - by 2030:

<https://edition.cnn.com/videos/world/2016/12/19/africas-energy-surge-kyte-int.cnn>

Source: CNN

FISUEL は、電気保安に関する教育と情報をプロジェクトに含めるように提案します。

サンプルを次の FISUEL インターネットサイトに掲載しています：

<http://www.fisuel.org/index.php?id=5>

Benoit Dôme 氏



WG EU/ME の報告

WG Eu/Me の 2018 年の主な活動の 1 つは、ECI ならびに AIE と共同で、EPBD¹に関する提言を行ったことです。これは公式文書であり、英語版のみ存在します。



加盟国に対する EPBD の防火性の指針に関する ECI、FISUEL、ならびに AIE の提言

ECI（欧州銅協会）、FISUEL（国際電気保安連盟）、ならびに AIE（European Electrical Contractors Association：欧州電気工事請負業者協会）は、Energy Performance of Buildings Directive の防火性規定の置換えについて、欧州委員会の指針書作成を歓迎します。
劣化した電気設備や欠陥のある電気用品による電気火災が欧州の住宅火災全体の 25%を占めることを鑑み、ECI、FISUEL、ならびに AIE は電気火災の予防を提唱します。これに関連して、指針の作成に当たり考慮すべき以下の 5 項目を提案します

[1] 電気保安についての意識を高める

電気火災予防の啓蒙活動を実施して、古い電気設備や電気用品の危険性についての知識を向上させ、資格とスキルのある工事請負業者の利用を促進する必要があります。

特に電気設備の小さな変更を「自分でする」例が増加している事実を鑑み、古い電気設備や電気用品の危険性を認識させることは、電気保安についての市民の意識を高める最も効果的な方法の 1 つです。

詳細情報：<https://www.nfpa.org/fpw/index.html>

[2] 定期点検を奨励する

新規建築物の竣工検査や定期的な安全点検は、事故の予防に優先します。HD 60364-6 の指示に従って、定期点検を行い、有効性が限られた電気設備の点検を実施する必要があります。建物の居住者または所有者が変わったときは、検査資料が提供されなければなりません。

定期点検に関しては、より明確な勧告が CENELEC から行われているにもかかわらず、EU 諸国の中で電気設備の定期点検制度を設けている国は少数です。その結果、最近の基準では安全でないと考えられる機能が今でも設備に含まれています。FEEDS レポートでは、定期点検を行って、電気保安規格が有効に適用されているか確認することで、火災件数が減少すると結論付けられています。

詳細情報：FEEDS レポート - “Residential electrical safety - How to ensure progress”、
<http://www.leonardo-energy.org/resources/1136>

電気設備の検査は、以下に際に奨励される必要があります：

- 改築作業の実施時
- 太陽光発電設備、ヒートポンプ、または電気自動車充電ステーションの設置時

電気エネルギーシステムは急速に変化しており、ソーラーパネル、ヒートポンプ、電気自動車充電器などの新しい電気装置は、屋内電気系統の保安に深刻な問題を生じさせる可能性があります。検査と点検を実施することで、こうした問題を特定し、安全性を向上させることができます。

¹ Energy Performance of Buildings Directive（「建物のエネルギー性能に関する欧州指令」）

| | |
|--|---|
| [3] 加盟国を促して、最も弱い家庭を支援させ、電気設備の安全性を向上させる | |
| エネルギー貧困のリスクが最も高い人々、つまり高齢者・一人親・若者のために、電気設備の安全性向上の資金を提供するように、指針で加盟国を促す必要があります。 | <p>複数の統計結果から、安全性貧困にさらされている人口区分が同様にエネルギー貧困の影響も受けることが明らかになっています。生活水準の低い人口層では、電気事故のリスクが平均よりも高くなります。生活に必要なニーズを満たすことに資力を費やさざるを得ず、借りる住宅は安くて古く、維持管理が不十分なものになる場合が多く、そうした住宅の暖房設備は不適格で電気設備は旧式です。</p> <p>詳細情報：“Addressing safety and energy poverty to better protect vulnerable consumers”、Benoit Dôme が EPOV の演壇で発表。</p> |
| [4] 電気機器の市場監視を強化する | |
| 電気機器とケーブルに対する EU レベルの市場監視を強化する必要があります。 | <p>一般家庭における電気の使用が多様化、増加している状況、および屋内火災全体の <u>20~30%</u> が <u>電気火災</u> であることから、ケーブルを含む電気機器の市場監視の強化によって、危険な製品の市場参入を阻止することができます。</p> |
| [5] 最新式の機器や安全サービスに積極的に投資する | |
| 火災のリスクを減らして電気事故を減少させるには、電気保安装置に関連した最新技術への投資、およびそうした技術の利用を促進する必要があります。 | <p>過去 50 年の間に、ヒューズ、回路遮断器、差動保護、および精密ケーブルの能力が実証されました。電気使用の増大にもかかわらず、事故や火災の件数は大幅に減少しています。各国の実践に合わせた国家的アプローチを推進する必要があります。</p> <p>詳細情報： https://www.onse.fr/wp-content/uploads/2017/09/plaque_tte_onse_en.pdf</p> |
| ECI、FISUEL、ならびに AIE について | |
| <p>欧州銅協会 (ECI) は、1996 年に創立され、ブリュッセルに本拠を置きます。欧州各地の事務所を拠点に専門家チームをまとめ、規制に関する事柄や市場開発プログラムについて、銅業界のメンバーと緊密に協力しています。ECI は、銅市場の開発と保護、および社会の持続可能な開発目標への積極的貢献のため世界の銅産業を統率する Copper Alliance™ に加盟しています。</p> <p>国際電気保安連盟 (FISUEL) は、電気の使用と使用者の安全に対して業務上の責任または関心を持つ法人組織の代表です。電気保安を国際的に共同で推進し、各国間の交流と経験の共有を促すことによって、電気設備の安全性と基準システム間の合致性を高めることを目的としています。</p> <p>欧州電気工事請負業者協会 (AIE) は、1954 年に創立され、120 万件の仕事、125.500 社の会社、1370 億ユーロの売上を有し、欧州の電気工事請負業者の利害を代表します。AIE の目的は、欧州における高品質で安全な電気設備の普及を促進し、EU 内で現代の電気工事請負業者が規制環境を構築するための機会を推進することです。</p> | |

Benoit Dôme 氏、Marc Maslowski 氏

アフリカ／電気：使用者の安全確保が重要...04-2018

添付の記事は、経済ジャーナリストでブロガーでもある LAWANI Babatundé 氏によって執筆され、会長宛てに送付されたものです。

コートジボワールの状況に鑑み、特にアフリカにおける電気使用者の安全確保が重要です。4月30日から5月3日まで、エネルギーの移行、電気使用者安全の状況・課題・見通しに関する FISUEL（国際電気保安連盟）のシンポジウムがアビジャンで開催されました。

欧州では電気火災が住宅火災全体の25%を占めますが、韓国と日本では15%です。一方、アフリカでは70～80%です。電気火災の原因はさまざまであり、偽造または劣化した電気機器や危険な電気機器が使用されたこと、設備の管理が行われていなかったこと、建物の管理や工事施工者の資格が欠如していたことなどが挙げられます。

「1981年、コートジボワールでは、屋内電気設備の初期管理を LBTP SECUREL に委託しました。しかし、定期検査、つまり使用開始後の建物の検査には、依然として問題があります。竣工検査後に建物の一部が変更される場合があります、最初の管理で排除したはずのリスクが残っていることがあります。FISUEL の会員であるセネガルでは、これまでに、屋内電気設備の管理はかなり進展しました」と、LBTP 建設・公共工事研究所長の Jean Claude Kouassi は述べています。

電気は国の開発に大きな役割を果たしますが、危険なものにもなり得ます。アフリカの都市において、電気火災の影響を最もよく受ける場所の1つが市場です。2015年以降、アビジャン、ブワケ、ダカール、ニアメー、コトヌー、リーブルビル、ロメ、ワガドゥグーの市場が火災による被害を受けました。これが全てではありません。コートジボワールだけでも、30年間に67の市場で火災が発生し、2017年だけで12の市場が焼けました。

危険な電気製品や偽造品の市場参入を阻止するために、国境を超えた監視の強化が提言されています。さらに、アフリカにおける電気火災をできる限り減少させるため、定期的に繰り返して検査を実施することが推奨されています。

このシンポジウムでは、すべての人が電気を利用できるようにするという目標についても議論されました。世界の非電化地域に住んでいる人の数は、2016年の時点で、16億人から11億人に減少しました。全体の安全のために、すべての人が、すべての場所で、手頃で持続可能な電気を利用できるように、再生可能エネルギーの推進が提唱されています。

「南米、北アフリカ、中東などの多くの国で、ほぼ完全な電化が現実に進展しています。サハラ以南のアフリカでは、電化が継続して進められ、2014年に初めて人口増加を上回りました。その結果、電気を利用できない人の数は減少しています」と、FISUEL（国際電気保安連盟）会長の Dominique Desmoulin は述べました。

この会議には、コートジボワール、ベルギー、ベナン、カメルーン、ニジェール、セネガル、レバノン、フランス、韓国、インドネシア、日本、マレーシア、ニューカレドニアの専門家、ならびに、UIE、Legrand、Schneider Electric、IEC、Cenelec、銅業界を代表する ECI 銅協会、Électriciens Sans Frontières、FISUEL の多くの会員団体などの組織が出席しました。

FISUEL は16年前に創立され、4つの大陸に広がる15か国から、22の会員団体が加盟しています。偽造品や危険な電気製品の撲滅を目的としています。その達成のため、国の規制を改正して電気設備の竣工検査と定期検査を義務付けるように、地元当局と政策決定者への働きかけを行っています。

LAWANI Babatundé 氏



Fisuel の 2019 年度総会をレバノン・ベイルートで開催 - OEA と FLE が招待



2019 年度総会のテーマ：「再生可能エネルギーに関する安全性」

イベントは、2019 年 4 月 29 日から 5 月 3 日まで開催されます。ホテルは後ほど決定されます。
 注記：レバノンでは、World Energy Week 2020 が開催される予定です。



スケジュール：

開催期間：4 月 29 日 - 5 月 3 日

| | |
|---|--------------------------------|
| 一日目：4 月 29 日（月曜日） - 理事会 - 開会式 - 総会 | |
| 9:00 - 10:00 | FISUEL 理事会 |
| 14:00 - 15:30 | 歓迎・開会式： |
| | 地域事務所代表の挨拶 |
| | FLE & OEA 会長、建築士 Jad Tabet の挨拶 |
| | FISUEL 会長の挨拶 |
| | 関係大臣の挨拶 |
| 15:30 - 16:00 | スタンド訪問 |
| 16:00 - 16:15 | 休憩 |
| 16:15 - 18:15 | FISUEL 総会 |
| 二日目：4 月 30 日（火曜日） / シンポジウム | |
| 8:00 - 10:00 | シンポジウム |
| 10:00 - 10:15 | 休憩 |
| 10:15 - 12:15 | シンポジウム |
| 12:15 - 13:15 | ランチ |
| 14:00 - 16:00 | シンポジウム |
| 16:00 - 16:30 | 休憩 |
| 16:30 - 17:30 | レスティテューション |

| | |
|--|------------|
| 三日目：5 月 1 日（水曜日） - FISUEL ワーキンググループ | |
| 10:00 - 16:00 | ワーキンググループ |
| 四日目：5 月 2 日（木曜日） - シンポジウム - 祝賀会 | |
| 8:00 - 10:00 | シンポジウム |
| 10:00 - 10:15 | 休憩 |
| 10:15 - 12:15 | シンポジウム |
| 12:15 - 13:15 | ランチ |
| 14:00 - 15:00 | レスティテューション |
| 15:00 - 16:00 | 総括 |
| 16:00 - 17:00 | 閉会式 |
| 17:00 - 17:30 | カクテル |
| 20:00 | 祝賀会 |
| 五日目：5 月 3 日（金曜日） - 技術・観光視察 | |
| 別途計画 | |

スポンサー・講演者募集：上記テーマにご賛同いただけるスポンサーの方、または上記テーマに関連する講演をしていただける方は、Jamal Haydar (jamal.haydar@gmail.com) および Patrick Aubelis (patrick.aubelis@fisuel.org) までお知らせ下さい。

参加申込：参加登録・申込用書類一式を現在作成中です。

気温：4 月～5 月：18～25°C

レバノンのベイルートでお待ちしております。

Jamal Haydar 氏 (OEA)、Patrick Aubelis 氏 (Fisuel)

カメルーンの ENEO と税関が協定締結

カメルーン - 電気 : Eneo とカメルーン税関が電気機器の安全性強化で合意
文責 : Iris BITJOKA

カメルーン税関局長の FONGOD Edwin NUVAGA と Eneo ゼネラルマネージャーの Joël NANA KONTCHOU は、2017 年 10 月 5 日木曜日、協力協定に署名しました。



粗悪な電気機器を原因とする一般家庭での事故が増加しています。新しい延長コードやマルチプラグを壁のコンセントに差し込んだときに電源が突然切れる、建築時に使用された低品質の電線の短絡によって火災が発生する、電気ケーブルが違法に裁断・破壊・切断されたため急に停電する、などの事故が報告されています。Eneo Cameroon と税関局長の間で署名された協力協定により、長期的には、こうした事故が抑制されなければなりません。

この協定は、カメルーン税関による禁制品・不正行為の撲滅強化の枠組みに含まれるものです。人々や製品の安全性に重大なリスクをもたらす電気機器の流れを管理することによって、電気サービスの品質を向上させることを目的とします。税関局長にはさらに、そうした流れによって国の収入から関税収入が失われるのを阻止する狙いがあります。

したがって、これは双方に有利な関係です。カメルーンの税関は上流および下流管理の有効性を強化しようとしています。両当事者は情報交換に合意することで、Eneo 配電網に設置される前の輸入電気機器の追跡可能性を確保し、他方、配電網から盗まれた電気機器を管理して輸出を食い止めることができます。

協定では、Eneo の事業に有益な 2 つの仕組みを構築することについても規定されています。その仕組みとは、**プライベート保税倉庫 (Private Warehouse in bond)** と **直接除去 (Direct Removal)** です。

「**プライベート保税倉庫**は、Eneo が輸入した資材（ケーブル、メーター、配電変圧器、回路遮断器など）を保管しておく場所です。ここに保管された資材については、出荷して使用する時点でのみ、税金を支払う必要があります。この仕組みにより、会社は資材を獲得する上での柔軟性が得られます。その結果、在庫管理とトラブルシューティングチームの応答時間が改善されます」と、税関局長の Edwin Nuvaga は説明します。

直接除去は、緊急と判断されたプロジェクトに設定されます。「計画の重大性に基づいて、対象となる資材の在庫一掃のため、信頼できる会社に資材が提供されます。この場合、料金支払いは免除されません。この仕組みは、プロジェクトの引渡しに要する時間の節約に役立ちます」と、カメルーン税関局長は述べています。

Fisuel 副会長 Désiré Nansi 氏



ベナンにおける再生可能エネルギー

ベナンには再生可能エネルギー²の大きな潜在的可能性があり、エネルギーの移行と自給を確実に実現できます。この目標を達成するために、ベナン政府は、再生可能エネルギー源の開発を進めてエネルギーミックスを改善し、2021年までに太陽光発電エネルギーの設備容量 95 MW とバイオマス燃料セクターの容量 15 MW を達成することを決定しました（政府の行動計画³の下で行われています）。

この目標の達成を目指して、再生可能エネルギーの開発を促す環境づくりのための改革が進んでいます。再生可能エネルギーの開発に関する国の政策が初めて検討され、再生可能エネルギー政策および戦略の策定に必要な技術支援を政府に提供することを目的に、共和国大統領令に基づく特別の組織によって緊密にサポートされています。

ベナンでは、MCA II⁴の援助を受けて、オフグリッド電化⁵（EHR）の基本計画が作成されており、ベナン共和国のオフグリッド電化（EHR）に係わる 2018 年 9 月 12 付け Decree No. 2018-415 も採択されました。この政令の下で、現在は 2 つの方式で EHR プロジェクトが管理されています：容量 500 KVA 以下のプロジェクトの単純な許可、もしくは、特定の地域に展開される高容量プロジェクトの場合に行われる、入札募集を通じた許可です。EHR 基本計画では、約 1480 億 FCFA（2 億 2600 万ユーロ）の投資に対して、205 基のミニソーラー発電プラント、10 基のミニバイオマス発電プラント、および 9 基の小水力発電プラントによって、累積容量 41 MW のオフグリッド電力が 2025 年までに達成される予定です。

現在行われている改革には、政府機関の Beninese Agency for Rural Electrification and Energy Management⁶も関与し、同機関はその所管領域に加えて、国家プロジェクト EnR と EHR の遂行を管理しています。

現在のところ、2021 年までに 95 MW の太陽光発電エネルギーを達成するために、複数のプロジェクトが進行しています。MCA2 の援助を受けた、45 MW の太陽光発電エネルギーのオングリッド⁷・プラント 4 基、AFD⁸の資金提供による 25 MW の太陽光発電所、多数の IPP⁹太陽光発電プロジェクト、ならびに、試運転が間近に迫った 20~40 kW の太陽光発電所 80 基などです。また、UNDP¹⁰/GEF¹¹の支援を受けて、4 MW のバイオマス発電所 4 基の開発も行われます。

ベナンは国際太陽光連盟¹²に参加しており、550 の社会コミュニティインフラの太陽光電化のために、インドから 130 億 FCFA の出資を取り付けました。

エネルギーミックスを持続可能な方法で改善し、長期的にはエネルギー自給を完全に達成するために、多機能の水力発電ダム 2 基が Dogo-bis（128 MW）と Adjarala（147 MW）が建設され、それによって電気エネルギーのコスト削減が図られます。

こうした努力は全て、ベナンの社会経済的成長を後押しするエネルギーの安定供給につながります。

注記：MCA II：効率向上のための賢明なエネルギー供給。国を開発する電気工学。隔絶地域を電化するオフグリッドエネルギー。私たちの生活を照らすエネルギー

Mohamed Saizonou 氏（Contrelec Bénin）



²EnR：再生可能エネルギー

³PAG：政府の行動計画

⁴MCA II：ミレニアム・チャレンジ・アカウント・ベナン（Millennium Challenge Account Benin）II

⁵EHR：オフグリッド電化

⁶ABERME：Beninese Agency for Rural Electrification and Energy Management

⁷オングリッド・プラント：オングリッド発電プラント：送電網に接続されていないソーラーパネル設備に対して（「オフグリッド」と呼びます）、送電網に接続されたパネル設備のこと（「オングリッド」と呼びます）

⁸AFD：フランス開発局（French Agency for Development）

⁹IPP：独立系発電事業者

¹⁰UNDP：国連開発計画

¹¹GEF：地球環境基金

¹²ASI：国際太陽光連盟（International Solar Alliance）